

# たすけあい名古屋

通信第122号

## 消費税を巡って

**「社会保障と税の一体改革」は、社会保障制度を財政的にも仕組み的にも安定させることで、だれもが安心して利用できるようにするための改革です。消費税率の引上げによる増収分を全て社会保障に充て、お年寄りも、子どもも、現役世代も、将来世代も、みんなが安心して生活できる、活気ある社会の流れをつくっていきます。**

<http://www.gov-online.go.jp/tokusyuu/syaho/naze/minna.html>

上記は平成27年5月の政府広報からの抜粋です。(詳細はインターネットで照会ください) 社会保障費は団塊世代の高齢化、生産年齢人口の減少と、出るほうが増加し、入るほう小さくなってゆきます。これを解消するため消費税にその財源を求め、増税分をすべて社会保障費に充当するとの考えが打ち出されているわけです。

ところが経済成長に向けての施策であるアベノミクス「新3本の矢」の成否の行方が、大きな問題となりつつあります。経済全体が良くならなければ社会保障に回す財源が小さくなります。一方税率を上げると、買い控えで消費全体が落ち込みとあちら立てればこちら立たず、判断の難しい状況になりつつあります。夏の参院選を控え消費税増税の議論が、社会保障政策から選挙を巡る政局の道具となってしまわないよう願いたいものです。

**「昨日見事に保育園落ちたわ。どーすんだよ私活躍できねーじゃねーか。」**こちらは、働く母親の生の声がブログを通して広がったものです。この問題が国会で取り上げられ、当初、政府は冷静な答弁をしていたのですが、世論が盛り上がってくるにつれ手のひらを返したように、保育所の増設、保育士給与レベルの引き上げと世論に迎合するような方向へと変わっていきました。このような対応が悪いということだけでなく、確とした方針を持たず、その場しのぎの政策を打ち出してくることが大きな問題です。

昨年4月に介護報酬の切り下げが実施され、一方で介護職員の処遇改善加算見直しにより給与が引き上げられたため、介護業界では大騒ぎになりました。この変更で多くの介護事業所が厳しい状況に追い込まれ、事業から撤退しています。

さらに、団塊世代が後期高齢者の仲間入りをする25年問題が控えています。認知症者、要介護者の増加が現実の問題として待ち構えている一方で、若年の生産年齢人口は減少していき、このままでは社会保障費の原資が枯渇、加えて消費増税の見送りとなると、介護業界を取り巻く環境が極端に厳しくなることが容易に予想されます。一時の政局の動きが介護保険料の引き上げ、介護報酬の再引き下げと安易な政策へとつながらないよう見守っていきたいと思います。

(代表理事 西川 達夫)



# 卒業



常葉色濃き茅の木の青空ついてすくすくと・・・これは小学校の校歌の一節だ。

卒業シーズン、晴れの衣装に身を包んだ児童の姿を見ると50年余前に卒業した小学校の校歌が口をついて出て来る。そして皆と作った思い出のいくつかが昨日のこのように浮かんでくる。楽しいことも、いやなことも。私たちはいくつかの卒業を経て新しい生活に踏み出しなじんでいく。なじんだと思うとまた新しい出発。まさに卒業とは新しい出発という意味もある。

私にとって東京から名古屋に来てもらって三年間介護した母との別れが一番辛かった。一日に一度食事の時間に行き、母のペースで食事の介護をただけではあったが・・・。

母は八十を過ぎてても元気で、私たち親子が遊びに行くときとゆっくりではあるものの朝ご飯、晩ご飯を用意してくれていた。私も遊びに行くときと母に任せて、この時とばかり羽を伸ばしていた。晩年東京での施設入所になってからも、歩くこと等不自由ではあったものの「気をつけてやりなさいね。」と私を心配してくれている母がそこにいるだけで帰る所があるという安心感があった。

そんな母が亡くなった時の喪失感は今までの何よりも大きく、「私の上の代はもう誰もいない。次は私たちの代の番だ。」と思ったら何かぽっかり穴が空き、どう切り替えたら良いかまごついた。母が生きている時には十分な介護の知識もなく、車いすへの移動の手伝いすらしてあげられなかった。そんな時何か夢中になるものはないかと思い、せめてもの恩返しと思って「介護ヘルパー」の勉強を始めた。とにかく考えている暇のないように仕事の合間の土・日の受講だった。三ヶ月の講習の後ヘルパーの資格をもらった。その後「たすけあい名古屋」にボランティア登録をした。そして、何人かのご利用者との出会いができています。皆さんとお話をしていると色々なことを教えて頂いたり、母が皆さんに会わせてくれているのだと有り難く思っている。私にとっての新しい出発でもあったのだ。

そう、母との別れは「私が子供からの卒業」だったのだと分かった。親は子供がいくつになっても小さな子供のように気を遣ってくれていた。「もう十分大人なので、そんなことあなたに言われたくないわ。そんなことより自分のことを心配しなさい。」と冷たく言ったこともあった。そういうやりとりをしながらも子供であることを楽しんでいただけたのかも知れない。



これからいくつかの卒業があるのだろうか。いつか仕事からの卒業もある。でもまだまだやりたいことは沢山。そのどれだけができるかは分からないが、心身元気に一日一日を積み上げて「人生の卒業」の時には心穏やかにできたら良いなあと思うこの頃である。

(板津 美緒子)

※板津さんは、「たすけあい名古屋」の担い手として、長年ご利用者の生活支援をしてくださっています。

## 「かくれ脱水」に注意！

### かくれ脱水チェックシート

一つでも当てはまれば、かくれ脱水の恐れ  
あります。

- 皮膚がかさつくようになった。皮膚につやがなく、乾燥している。ぼろぼろと皮膚が落ちる。
- 口の中が粘つくようになった。食べ物がばさつく。つばが少なく、ごくんと飲めないことがある。
- 便秘になったか、ひどくなった。下剤を使う頻度が増えた。
- 前より皮膚の張りが無い。手の甲をつまみあげて離した後に、つまんだ痕が3秒以上残る。
- 足のすねにむくみが出るようになった。靴下のゴムの痕が脱いだ後に10分以上残る。

※あくまで目安であり、該当項目がなくても「かくれ脱水」になっている場合があります。確定診断には、医療機関での血圧浸透圧値の評価が必要。

(かくれ脱水委員会より抜粋)

暑くなる時期、尿意を催すとい  
って水を飲まない方が多いで  
すが、腎臓がかわいそう！

特に女性は5月頃から膀胱炎  
の発症も多くなります。  
しっかり水分を摂って下さい！



**かくれ脱水**…熱中症や脳卒中などを引き起こす  
脱水。「かくれ脱水」とは脱水症の前段階です。

**熱中症**…高温多湿の環境で、体内の水分や塩分  
のバランスが崩れたり、体の調節機能が壊れたり  
して起きる障害。

症状 — 目まいや吐き気、頭痛、意識障害等。

❖左記の表でチェックし、結果に応じて、  
下記の対応等が必要です。

- **食生活の見直し** (栄養バランスのよい三度の食事をきちんと食べる)
- **塩分の多い経口補水液での水分補給** (夜間も脱水になりやすく、寝る前にコップ一杯程度の水を飲む)
- **医療機関への受診**

(けあプラン鳴子 管理者 看護師 梅村 千春)

## 障がい者総合支援 (のん・たん) だより

3月29日(火)「障害者支援部門のん・たん」で大型バスを利用し、豊橋の「のんほいパーク」へ行きました。当日は天気も良く、絶好のバスレク日和。ご利用者の中には初めてバスレクに参加した方もおられ、観光バスでのおでかけに、どの方も笑顔いっぱい。車内では定番のビンゴゲームで盛り上がり、景品のおやつを食べながら過ごしました。

現地に着くころには、お弁当の時間で、外で食べるお弁当はまた特別美味しい！！

春休みという事もあり、たくさんの方で賑わっていた「のんほいパーク」でしたが、遊園地でジェットコースターや汽車に乗ったり、動物園で動物を見たりと、みなさんそれぞれ、バスレクを楽しみました。

今回も「おおやま歯科医院様」のご協力により、楽しいバスレクを企画する事ができました。ありがとうございました。

(生活介護のん・たん 服部 友里恵)



「のんほいパーク」にて

# デイサービス鳴子だより



「デイサービス鳴子」では、毎日夕方になるとノートの時間があります。今日一日どんなことがあったか思い出す時間でもあります。書くのがお好きでさらさらっと書かれる方、中にはノートの時間が憂鬱な方もお見えになられたり…（それでもだんだん慣れてくるとそうでもないのですが…）、気乗りされない方には日付だけでも書いていただいています。デイで撮った、例えばお花見などの行事の写真や、記念写真なども貼ったりして、それぞれの素敵なノートが出来上がっていきます。

3月は、そのノートにつけるブックカバーを作りました。ステンシルという、色水をポンポンと型に染み込ませて模様を写す方法で作ったブックカバーです。

みなさん、それぞれオンリーワンの素敵な作品に仕上がりました！  
(管理者 須原 久美子)



ステンシルでブックカバーを作成中

## 高齢者日常生活支援研修

あなたも困っている高齢者の為に

生活支援の担い手となり、地域で活躍しませんか？



6月より始まる日常生活支援の担い手さんの研修が下記のように今年度もあります。近々「たすけあい名古屋」でも担い手さんの募集をしますので、是非ご受講下さい。

参加は、テキスト代500円のみで参加できます。研修では、「介護保険制度の理解」「生活支援の方法」「医学や認知症に関する知識」についての講義および、介護サービスの現場の見学を通じて生活支援に必要な知識を学んで頂きます。

お問合せ ☎052-918-7410 (なごや福祉ネット)

	1日目	2日目	会場	最寄駅	地域
1回	5/26(木)	6/3(金)	日本ガイシフォーラム	JR 笠寺	南区又兵衛町
2回	6/13(月)	6/21(火)	北区社協	名城線 黒川	北区清水
3回	7/2(土)	7/3(日)	南医療生協	JR 南大高	緑区大高
4回	7/27(水)	7/28(木)	天白社協	鶴舞線 原	天白区原
5回	8/20(土)	8/21(日)	名市大	桜通線 桜山	瑞穂区河澄
6回	9/8(木)	9/9(金)	みなと医療生協	名城線 六番町	熱田区五番町
7回	10/1(土)	10/2(日)	あいち福祉医療専門学校	JR 金山総合駅	熱田区金山町
8回	10/19(水)	10/20(木)	北区社協	名城線 黒川	北区清水
9~12回	詳細未定				

ホームページをご覧ください

たすけあい名古屋 検索



特定非営利活動法人 (認定NPO法人) たすけあい名古屋

代表理事 西川 達夫

〒458-0041 名古屋市緑区鳴子町四丁目13番地 愛知県住宅供給公社鳴子第1住宅

TEL 052-899-0833 FAX 052-899-0800

Eメールアドレス : info@tasukeainagoya.com